

From New Zealand by bc-canal.



SEALEGS

PATENTED AMPHIBIOUS TECHNOLOGY

取材協力:
ボートクラブカナル (シーレグス正規輸入代理店) 〒431-1207 静岡県浜松市西区村瀬町4607-13 TEL 053-489-2877 URL <http://www.bc-canal.com/>



7.1 M RIB SPECIFICATIONS

- 全長：7.13m ●全幅：2.61m ●吃水：0.41m
- 総重量：1,508kg (DF150・燃料含む)
- 底勾配：21度 ●最大積載量：海・陸上700kg
- 定員：8名 ●推奨馬力：150hp



今回ご紹介するのは水陸両用のボート『シーレグス7.1M RIB』。水陸両用と聞くとどうやってボートが陸を走るの?といった声が聞こえてきそうだが、なんとこのボートにはタイヤが3つ存在するのである。上の写真を見て頂ければお分かりだと思うが、前輪で1つ、後輪で2つという形でボートを支えている。今回こんな面白くて、可能性の秘めたボートを編集部にご紹介してくれたのは、静岡県浜松市にあるボートクラブ

カナルさん。カナルさんといえばアメリカで人気のカロライナスキップの日本総代理店であり、これまで日本に数多くのカロライナスキップを広めてきた。最近ではカロライナスキップ社のパーティボート『ファンチエイサー』を日本で展開しており、こちらも注目度抜群のお洒落なボートとして、去年のハイピッチ10月号の中でもご紹介している。そんなカナルさんの代表である柴田社長に、今回はシーレグスの秘めた可能



完成度の高い足回りは軽量化を実現!3輪駆動とハルの mismatch が興味深い!

性とその魅力をたっぷりご紹介頂けた。取材当日、アメリカな雰囲気漂うボートクラブカナルさんに到着した編集部は早速取材を始める。まずは走行写真(水面)の撮影から。タイヤを3つも付けてるのだから、スピードは押さえられているのかと思いきや、そうではない。見事な加速感と直線の伸びは撮影前のイメージを一気に吹き飛ばしてくれた。柴田氏によると陸上を約10キロで走行し、海上は35ノットオーバーで走るとのこと、その走りっぷりは見ていてなんとも気持ちの良いものだった。旋回性についても撮影艇の周りを切れ味あるコーナーリングで駆け抜けて行って来たところを見ると、問題なく楽しめるのではないと思う。そして走行後にカナルさんのスロープへと戻って来て、スロープの手前で柴田氏がタイヤを油圧で降ろす。すると水面から出ていた前後輪のタイヤが自然と水中に入って行く。そして車輪が当たるポイントまで航行したら船外機はストップ。油圧モーターの3輪駆動車に



スズキ4ストローク150馬力との相性は抜群!パワフルな走りを出している。

変身したボートは3輪の低圧タイヤをフルに駆使して陸上へ上がって来る。この一連のボートの動きは見ていて非常に興味深い。スロープがあればそのまま上がって来てしまうので、クレーンで吊り上げたり、海上にずっと係留しておく必要が無くなってしまふのだ。逆にスロープから水面にアクセスするのはタイヤ走行でスロープを走り、ボートが浮いたのを確認後に船外機をスタートさせる。その後、油圧作用用エンジンをストップさせる。そして船外機をチルトダウンし、3輪を油圧で持ち上げれば走行準備は万端だ!!あとは想いのままにシーレグスの操船を楽しむことができるのである。走りを楽しんだ後は、タイヤを出して、陸に上がってしまう際は今度はその3輪駆動性能が操船者だけでなく、見る人までも楽しませてくれることであろう。カロライナスキップを日本中に広げてきたカナルさんに、今年新たに登場したこのシーレグスという『両生類』。その強烈なインパクトは今年注目のボートであると言える。



バウ部分はしっかりとスペースが確保されている。



コンソールには無線、GPS等が見やすく配置。



後方から見るとボートの長さが実感出来る。



カナルさんのスロープから水面に直行する。



タイヤ走行時は油圧モーターの3輪駆動で動く。



走行しながらそのままタイヤごと入水!!



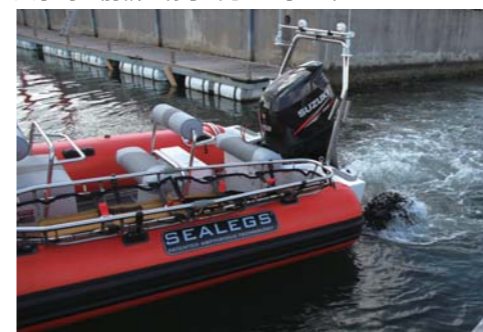
入水時の前輪の様子。完全に水の中にある。



油圧で持ち上げるとタイヤが水面に出て来る。



完全にタイヤを水面から上げてしまうことが出来る。



後輪も前輪同様入水後に油圧で持ち上げる。



後輪も完全に水面から上げることが出来る。



船外機を徐々にチルトダウンし、浮いた時にスタート。



スロープへ到着。今度はタイヤを油圧で降ろす。



タイヤが地面を捉えればタイヤ走行の開始。



船外機は上陸前にチルトアップしておく。



タイヤの上げ下げはボタンで行えてとても便利だ。



シーレグス正規輸入代理店のボートクラブカナルさんと、このボートの魅力について語る代表の柴田氏。

